

川越昭和の街 イベント情報

※2024年1月現在の情報です

4月29日 協賛店にて
川越昭和の街 コッペンパンデー

9月 蓮馨寺にて
『昭和の街の感謝祭』

年4回 蓮馨寺講堂にて
蓮馨寺落語会(不定期開催)

毎月18日 蓮馨寺と協賛店にて
『川越昭和の街 ごえんの日・手づくり市』

毎月8日 蓮馨寺にて
『呑龍さまご縁日・呑龍デー』

毎月第3日曜日 熊野神社にて
『銭洗弁天さま
ご縁日』



新店舗情報

※2024年1月現在の情報です

NEW めだか屋 喜楽

川越市連雀町10-1
☎070-8565-6550

不定休

営業時間
平日13:00~17:00
土日13:00~18:00

みんな大好き、めだかすくい
【遊ぶだけ】も楽しめます♪



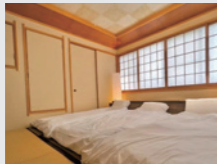
NEW R House 川越

川越市連雀町7-1

営業時間
24時間

不定休

一軒家貸切宿
家族・友人・カップルにおすすめです



NEW 肉と鰻 うな時

川越市連雀町10-1
☎049-292-9129

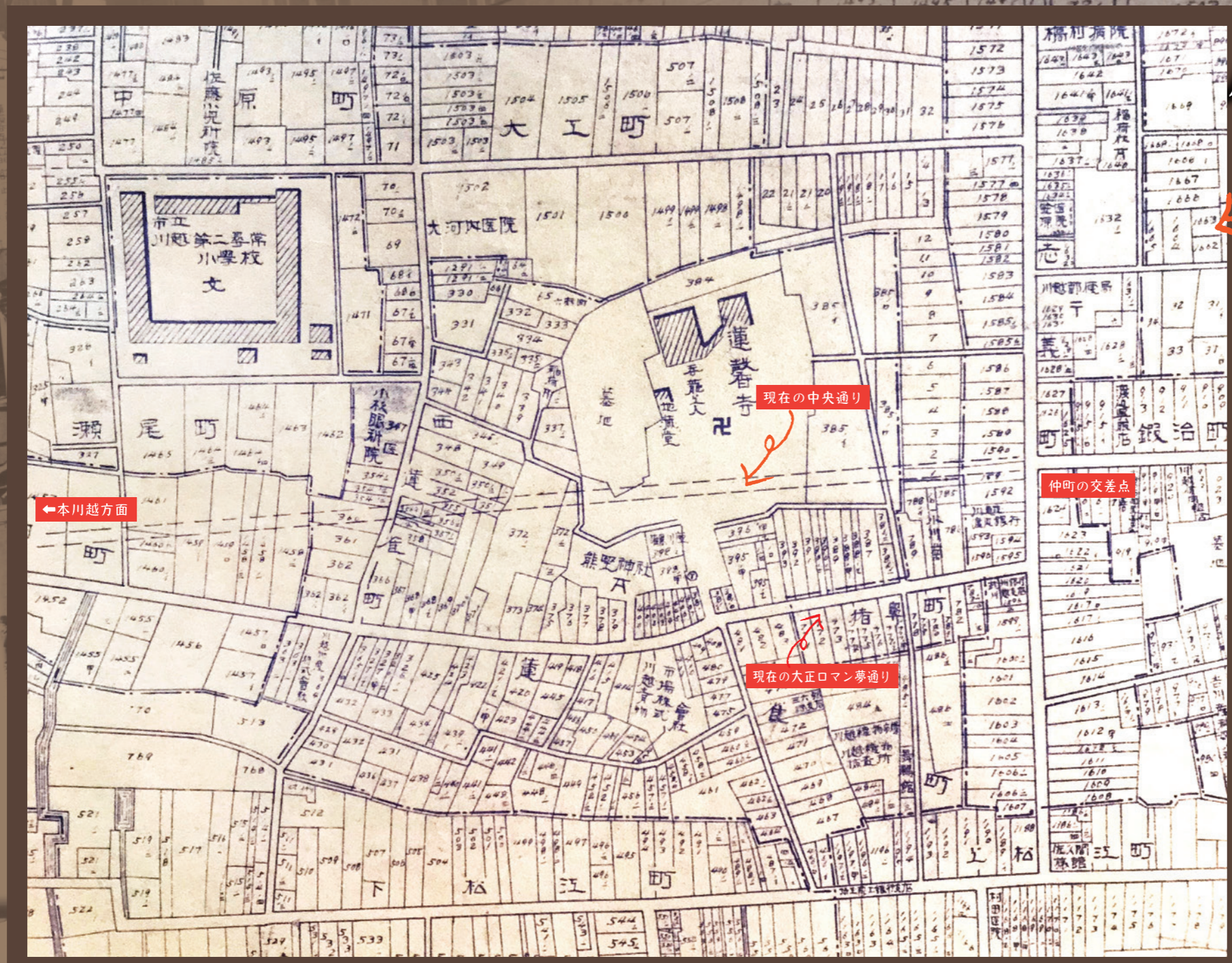
不定休

営業時間

平日 ランチ 11:29~14:00(13:30L.O.)
ディナー 17:00~21:00(20:00L.O.)

土日祝 ランチ 11:29~15:00(14:30L.O.)
ディナー 16:30~21:00(20:00L.O.)

インスタID unatoki_kawagoe



昭和五年頃 川越市街図

川越の街を古地図で巡る

昭和の街をさがして

昭和8年(1933年)、西武本川越駅(当時は川越鉄道の川越駅)から一番街(蔵のまち)、札の辻へと抜ける幹線道路「中央通り」が開通しました。その際、蓮馨寺境内の一部が道路に

生まれ変わり、ここに来た新しい街が川越昭和の街です。古地図(昭和5年頃川越市街図)の中の蓮馨寺境内の点線部分が現在の中央通り昭和の街にあたります。

そんな昭和の街に次々と開店する商店の建物は、昔ながらの商家の造りでありながら、表の面だけ西洋建築風という「看板建築(擬西洋建築)でした。「看板建築」は、当時の人たちのモダンな雰囲気への憧れが形になったもの。たとえば、昭和の街誕生当時の蓮馨寺門前にあった「太陽軒」。

角の丸いフォルムもおしゃれな看板建築です。



推定昭和8年頃の『太陽軒』。拡大すると、看板にはカツ丼20円、玉子丼20円などのメニューが！とくに開化丼20円が気になります。



現在はレストランと和菓子さんが営業中。今でも、洋食屋さんなんて、なんとも感慨深いです。画面左下マンホールが同じ位置で地味に感動♪



この「太陽軒」の建物は改装されながらも面影を残しつつ、その後「川越水族館」というペットショップになり、現在はレストラン「ライフ」や和菓子の「彩乃菓」として親しまれています。

懐かしいけれど、ちょっとポップでモダン。川越昭和の街で、そんな昭和の面影を探してみてもいいですか？